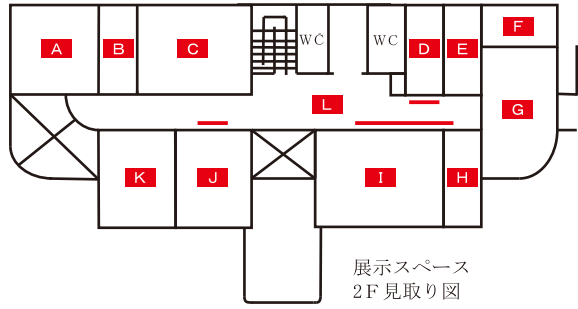


開拓財産 ～むかしのどうぐ～

その8：民具の調査

謎の道具！？
番外編

旧荷負小学校展示施設



- A 商業・生活
- C 学校
- D 地域の記憶
- E いろいろな道具たち
- G 林業・馬具
- I 収穫（秋）
- J 畑・稲作（春）
- K 家での暮らし
- L 壁面展示（—展示箇所）

B・F・H 関係者専用

町民の方から、自宅作業場に使い方がわからない昔の道具があるので調べてほしいとのお問い合わせがありました。書籍やインターネットで調べてみましたが、使い方や名前もわからず困っていました。フェイスブックを活用して多くの人に聞いてもらったところ、ウナギ搔きという道具であることが判明しました。

[ウナギ搔き]
水底のウナギを捕える道具。長い柄の先に鉤（カギ）をつけたもの。船上用と徒歩用の2種類あり、柄の長さや鎌の角度が異なる。



実際にお問い合わせのあったウナギ搔き

二風谷在住の方にお話を聞きました
昭和の終わり、堰堤にはよく魚が見え、その中にはヤツメウナギもいた。ウナギ搔きではなく、軍手をして手で捕まえると腕に巻きついてきた。



ヤツメウナギって？
ヤツメウナギ目ヤツメウナギ科というもので、ウナギの仲間ではない。エラが片側に7つあり、本当の目と合わせて8つ目があるように見える。外見はウナギそっくりで、長さは50～60cm。ヤツメウナギのうちポピュラーなのはカワヤツメと呼ばれる。



【アイヌ語】
puyapuya-cheppo
(ブヤブヤチェッポ・ブワブワした魚)
【日本語】
やつめ、カワヤツメ 《沙流ほか》
知里真志保 1963 『分類アイヌ語辞典動物編』より

〈アイヌの伝承におけるヤツメウナギ〉

昔、文化神がやまで熊を獲って、木皮舟に積んで石狩川をくだって来たところ、ここで舟をひっくり返して、熊の肉と一緒に積んでいた熊の腸も流してしまっただが、ヤツメになったのだ。それでカムイコタンにはヤツメが多く、またヤツメには骨がないのだ。 更科源蔵 1981 『アイヌ伝説集』より



見学のご案内

【開館日時】 ＊変更の場合あり

5～11月の月・水・金曜日(祝日休館) 9:00～12:00

上記以外の日程のご見学についてはお問合せください。

【ご予約・お問合せ】

平取町立二風谷アイヌ文化博物館 ☎01457-2-2892

または 沙流川歴史館 ☎01457-2-4085



平取町内
小学4年生
が見学に
来てくれ
ました！



国道沿いに
看板がで
きました！

(廣岡絵美)
小林斉子